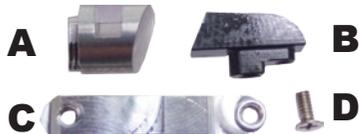


## 小パーツリスト



A: エキストラクター ×1 B: フロントサイト ×1  
C: ブリーチバー ×1 D: ネジ ×1

※各パーツは、必要数以上入っている場合がありますが、予備パーツですので上記パーツリストの数量以上使用しません。

## ① スライドレール

純正スライドから外したスライドレールを移植します。スライド前方の切り欠きに(赤丸 A)、レール先端を差し込みながらはめ込みます。固定用のネジ(赤丸 B)は、マルイ純正ネジを使用します。



## ② ブリーチバー

スライドの凹みに合わせて、はめ込みます。先端が斜めにカットされている側が銃口側です。



## ③ エキストラクター

スライドの後方から、スライドの切り欠きに合わせ差し込みます。ブリーチをはめ込むことで固定されますので、ネジでの固定や接着などは必要ありません。



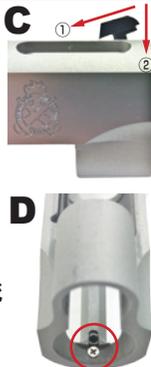
## ④ ブリーチ

純正スライドと同様にブリーチをはめ込みます。スライドを反対に向け、サイトカットからローディングノズルリターン springs を差し込み、リアサイトを組み込みます。再度、スライドを反対に向け純正スライドのネジを使用しブリーチとサイトを固定します。

(純正スライドにブリーチを組み込む手順と同じです)

## ⑤ フロントサイト

そのまま差し込むだけですが、ガタつき防止の為差し込みが固くなっています。写真 C を参考に、サイトを斜めにしなが溝にはめ込みます。少し入った所で、プラスチックハンマーで叩き込んで下さい。最後まで叩き込んだら、スライドの内側より製品に付属しているネジで固定して下さい。(写真 D の様に銃口側のネジ穴を使用します。)



## ⑥ アウターバレル

ホップチャンバー左側のネジ(赤丸 E)を取り外した状態で、組み込みます。奥まで差し込んだ後、再びネジを組み込み固定します。



## ⑦ 組み上げ

純正スライドを分解した手順と逆手順をなします。

## ⑧ ポイント

- ・スライドストップがかかりにくい場合  
スプリングガイドのバッファーを外して下さい。バッファーはスプリングガイドの前方から、ピンポンチなどで押し出すことで取り外せます。(バッファーを外してもカスタムスライドを組み込んだ状態では、作動には影響ありません)



- ・スライドの閉鎖不良が起きた場合  
アターバレルとスライドが触れる部分、スライドのレール部分などに潤滑剤を塗布し、すり合わせ作業を行って下さい。

- ・プラグには向きがあります。  
正規の位置に無い場合は、プラグが最後まで差し込めません。スライドの後退量不足の原因となりますのでご注意下さい。(赤丸 F の様にスライドとプラグが隙間が無ければ OK)



当製品は、高い工作精度で作られています。よって、各部分のサイズに余裕を取ってありますが、問題なく組み込めることは確認しておりますが、組み込む本体側の製造時期によっては、調整が必要となる場合もございます。ご了承下さい。